

令和 7 年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第 4 回 拡大理事会

日時：令和 7 年 7 月 1 4 日（月）
1 3：3 0～1 5：0 0 理事会
1 5：1 0～1 6：1 5 拡大理事会

場所：武蔵浦和コミュニティセンター 8 階第 9 会議室
＋オンライン会議（Zoom）

1 理事会開催日時：令和7年7月14日（月）13：30～15：00

2 開催場所：武蔵浦和コミュニティセンター8階第9会議室
オンライン会議（Zoom）併用

3 出席者：理事13名、監事2名 計15名

出席：

（理事）

門岡高太郎 竹内潤子 竹本耕造 倉橋（松本）浩一
東（竹野）みはる 山梨 誠 渡辺一生 下山友美
西村宝幸 塚田祐子 平野朋美
高瀬紀子（14:00～） 橋村健司

（監事）

吉越千昭（14:30～） 菊地孝義（外部監事）

欠席：

（理事）

飯田里美 千賀英昭

4 定足数確認（定足数8名）

理事 参加13名の出席で理事会は成立。

5 役割分担

議長：門岡高太郎 書記：西村宝幸

議事録署名人：門岡高太郎、菊地孝義、吉越千昭

6 代表理事より：門岡会長

7 報告事項、討議事項

1) 関係機関・関係団体主催会議等参加報告及び連携について

① 埼玉県社会福祉士会総会報告（竹内副会長）

6月21日に上記の総会が開催され、新会長の遅塚氏、副会長、埼玉県社会福祉課長、社会福祉協議会事務局長、埼玉県精神保健福祉協会疾病対策課精神保健担当者より挨拶があったことが報告された。今年度は社会福祉士会も体制を変えながら各団体との連携を企画していく方針と報告された。

埼玉県医療社会事業協会では、門岡理事が代表理事（会長）に就任したことを報告し、社会福祉士会とのコラボレーションを引き続き図ることが報告された。

② 日本医療ソーシャルワーカー協会会長会報告（竹本副会長）

6月20日に第34回会長会に参加した。会長会代表は静岡県医療ソーシャルワーカー協会中村会長から新潟県医療ソーシャルワーカー協会坂詰会長に引き継がれた。役員数は「1名」から「1名以上」に変更され、北海道と東北、中国と四国がそれぞれブロック統合されることが決定された。今後、ソーシャルアクションやその他の活動の拡大を見据え、会長会のあり方を検討していく必要があることが議論された。

2025年度予算管理交通費として10万円が承認された。会長会が企画するシンポジウムで、日本医療ソーシャルワーカー協会員ではない外部講師を招く際の交通費として充てられる。

日本医療ソーシャルワーカー協会と都道府県協会の相互加入を推進していく方針が確認された。日本医療ソーシャルワーカー協会の役員立候補者の中に都道府県協会の非会員を確認したことが背景にあった。

2月17日の朝日新聞の報道に対し、日本医療ソーシャルワーカー協会は、翌日申し入れを行い、2月26日に記者と面会したが、記者は謝罪せず、ソーシャルワーカーに焦点を当てる意図はなかったと述べられた。3月4日に第二報が掲載され、日本医療ソーシャルワーカー協会は会員に調査報告書を依頼した。調査の結果から、紹介会社を使用する際の規定がないと回答した会員は9割、倫理綱領を知らない会員は6割、紹介会社からの接待を受けた会員は0.8%であった。6月12日には会員にオンライン研修を実施したが、今後、日本医療ソーシャルワーカー協会は紹介会社の使用に関するガイドラインを作成し、倫理綱領の周知のための研修会を引き続き開催する方針であることが報告された。

③ 埼玉県精神保健福祉協会団体加入について(平野事務局長)

これまで杉山前会長個人名義で会費（年会費2,000円）を納めていたが、今後は埼玉県医療社会事業協会として団体加入としていくことで承認された。年会費は5,000円である。

④ 事務所移転・会長交代に伴う諸手続きについて（平野事務局長）

関係機関への挨拶状の送付及び7月1日付けで旧事務所の引き渡しの作業が完了し、新事務所への移転に伴い電話番号の変更も完了したことが報告された。

2) 各部局からの報告・協議事項

(1) 総務部：橋村理事

① 会員状況

2025年7月9日現在、1号会員389名、2号会員5名である。

② 入退会状況

詳細は7月14日理事会総務部の資料を参照のこと。

③ ブロック活動報告

各ブロック（南部・西部・北部・東部）での研修、交流会、地域貢献イベント（「たたら祭り相談会」「AIにできない面接」など）を継続支援、推進している。研修候補のテーマとして「就活センターの取り組み」「障害者支援」など検討している。

会員情報・研修活動に関しては各ブロック活動と連動してペーパーレス化も含め検討している。

(2) 研修部：松本部長

① 全体研修会・学会関連報告

参加者は80名であった。全体としてタイムスケジュールがタイトであった。全般的に集中して受講できたとの結果がアンケート結果で確認ができ、発表者にもアンケート内容をフィードバックした。今後の研修内容の候補についてアンケートを実施したところ「身元保証」「障害者支援」「意思決定支援」に関する要望があったため、要望に沿って企画する。

② 新人研修会について

全3回対面形式で開催する。対象者は臨床経験3年以下の会員で、第1回目は9月20日9:30から開始する。開催場所は武蔵浦和コミュニティセンターで行う。受講希望者には、受講機会を確保するためにオンデマンド配信も行う。受講料2,000円だが、途中参加者の費用負担については検討する。過去に受講できなかった会員に対し救済措置を検討する。

③ 中堅研修会について

今年度も、中堅研修会を予定している。

(3) 社会活動部：竹野部長、渡辺理事

① 医療福祉相談会について

地域での医療福祉相談会を計画している。

② 災害対策委員会について

渡辺理事が6月21日、日本医療ソーシャルワーカー協会の災害ワークショップに参加した。当協会として、災害対策委員会を設置し、会員の安否確認の体制の構築及び被災状況の情報共有と救護活動並びに他団体と連携を図りたい。委員会は設置することで承認された。

(4) 財務部：高瀬部長

① 財務状況報告

7月9日時点での会費納入状況は290名、残高はゆうちょ銀行に522,840円、埼玉りそな銀行に3,275,691円となっている。会費の納入状況方法として振込みを採用しているが、100名ほどの未収となっている。会員にとって納入しやすいように自動口座引き落としなどの方法を検討課題として言及された。財務作業の効率を図るためのペーパーレス化についても検討課題である。

② 育児休業中の会費免除関連周知文書について

図解などを加えた案内を作成し周知する。

(5) 事務局：平野事務局長、山梨理事

① 公益インフォメーション電子申請・登記について

電子申請は入力項目に変更が生じたが、6月30日まで入力を終えた。行政書士の並木氏より申請完了のメールを確認した。

登記については、納税証明書や理事の印鑑証明書などを添えて、6月30日に司法書士の安野氏に提出したが、追加資料の提出が必要となり、7月3日提出した。登記申請受理までに1週間から10日ほど時間を要する。受理確認後に報告することとなった。

② LineWorksの利用について

退任した役員のアカウントは削除し、前会長のアカウントは事務連絡のため当面維持する方針となった。

③ ホームページの見直しについて

ホームページの住所や連絡先の更新はできていないため、業者と交渉を進めている。

④ 日本医療ソーシャルワーカー協会2028年度全国大会候補地立候補について

2028年度の全国大会の開催地公募が行われた。8月31日が締め切りである。今回立候補はせず、体制を整えてから検討する方針となった。

⑤ 事務局会議報告

⑥ 事務局・総務部・財務部協働チーム報告

協働のグループで、作業の効率化などに向けて議論している。詳細は、事務局のファイルを参照のこと。

⑦ 令和8年度定時総会、70周年記念事業について

来年度開催の70周年記念事業について、規模によっては会場の早期確保が必要である。実行委員会の立ち上げの要項の原案を作成することとなった。

3) 次回理事会の開催について

次回は9月に協会事務所で開催を予定する。日程は、事務局長が調整する。

1 拡大理事会：令和7年7月14日（月）15：15～16：20

2 出席者：理事14名、監事2名 幹事8名 計24名

出席：

（理事）

門岡高太郎 竹内潤子 竹本耕造 倉橋（松本）浩一
東（竹野）みはる 山梨誠 渡辺一生 下山友美
西村宝幸 塚田祐子 平野朋美
高瀬紀子 橋村健司 千賀英昭（16:10～）

（監事）

吉越千昭 菊地孝義（外部監事）

（幹事）

大野将人 長岡杏奈 大園あゆみ 殿岡芳直 木嶋優子
泉谷圭祐（Zoom） 飯塚かおり（Zoom） 島田拓人（Zoom）

欠席：

（理事）

飯田里美

3 代表理事より

都道府県の中で当協会は、唯一の公益社団法人であり、不特定多数の利益のための活動を通じた社会貢献が求められること、一般社団法人に比べて税制上の優遇がある。一方で、事業収益は構成員への利益配分には使用できず、公益目的事業に充てる義務がある。

公益性を発揮しながら会員減少に歯止めをかけ、持続可能な団体となるために、今後取り組みたい6選として①「学生向けの事業展開」②「ホームページの変更」③「公式ラインアカウントの開設」④「部局横断事業の推進」⑤「会費納入方法の見直し」⑥「ICTの深化」を挙げた。

- 1 神奈川県協会で実施されている就職セミナーを参考に、将来の会員獲得を目指す。
- 2 スマートフォン対応を含む改修を行う。
- 3 200名まで無料で登録できる体制を整える。
- 4 部局間で、協力できる風土を醸成する。
- 5 『口座引き落とし』や『カード払い』の方法を導入する。
- 6 ICTを活用した業務の効率化を図り、紙面や郵送物の割合を減らす。

他、それぞれのワークライフバランスに配慮するために夜間・祝日の業務連絡は控えることなど挙げた。

4 副会長、各部局長からのコメントと理事の担当部局の紹介

竹内副会長、竹本副会長、倉橋（松本）研修部長、東（竹野）社会活動部長、高瀬財務部長、千賀総務部長、平野事務局長、吉越監事、泉谷東部ブロック長、大野西部ブロック長、殿岡南部ブロック責任者、島田北部ブロック責任者より各部局の業務と今年度の事業計画や各自の抱負を表明した。

各理事及び幹事の担当について、今期は次の通り決定したと報告があった。

- 研修部：塚田理事、下山理事、飯塚幹事
- 社会活動部：渡辺理事、長岡幹事、宮田幹事
- 財務部：飯田理事、市川幹事
- 総務部：橋村理事
- 事務局：山梨理事、西村理事、新井幹事

以上を以て議案等の審議を終了し、16：20議長より閉会を宣し、解散した。

上記は、理事会議事録に相違ないことを証明する。

令和7年 月 日

議事録署名人（代表理事）

議事録署名人（監事）

議事録署名人（外部監事）